



舞台芸術を 未来と世界へ

ETERNAL PERFORMING ARTS
ARCHIVES AND DIGITAL THEATRE



2025年度 EPAD 活動内容報告

2026年4月

はじめに

平素より、EPADの活動にご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

2025年度は、
令和6年度補正予算
文化芸術振興費補助金 人材育成・収益化に向けた舞台芸術デジタルアーカイブ化推進支援事業
に採択いただき、以下の事業を推進してまいりました。



約800作品の収集
141作品の
権利処理サポート

45作品の
高画質収録
(8K+マルチ録音)
のサポート

各地劇場での
大スクリーン上映

多言語字幕
ユニバーサル対応
推進

教育活用の促進

相互連携
調査研究
舞台芸術アーキビ
スト養成

これもひとえに、業界内外のみなさまのご理解ご協力の賜物です。

以下に簡単ではございますが、2025年度の活動内容についてご報告いたします。
よろしければぜひご一読いただくとともに、今後も変わらないご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

データで見る EPAD2025

新規アーカイブ

858作品

権利処理サポート

141作品

収録サポート

45作品

2020年度～2025年度累計

アーカイブ

4,717作品

権利処理サポート

853作品

収録サポート

150作品

収集・権利処理サポート

約800作品の舞台公演映像を新規アーカイブ

累計 4,600作品以上へ

公募にて**456作品**（応募総数 **846作品中**）を新規収蔵、

更に、日本劇作家協会、ダンスアーカイブ構想、2.5次元ミュージカル協会、日本パントマイム協会の統括団体から協力を得ると共に、より網羅的なアーカイブとなるよう、20名の有識者による「収集すべき舞台公演映像」のヒヤリング結果に基づいた収集も実施。

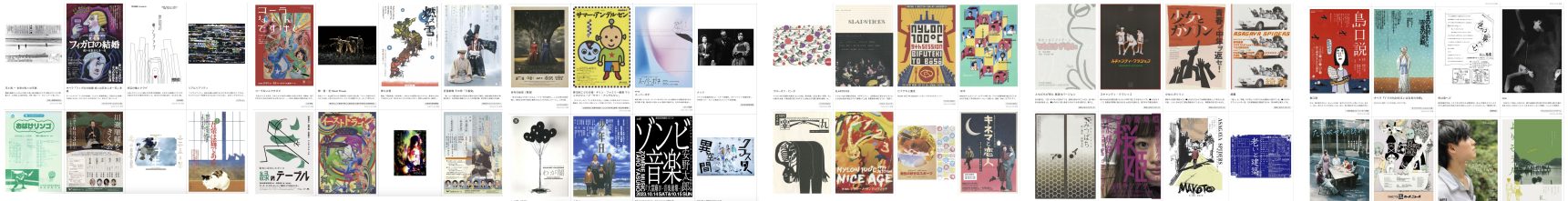
また、再生の危機に瀕しているVHS等のテープメディアのデジタルアーカイブも積極的に支援しました。

140作品以上の権利処理サポート

累計800作品以上が
公開可能に

配信や上映に活用できるよう権利処理をサポートしています。

配信等の可能化ができた作品は、有償プラットフォームを活用しての収益力の強化や、無償での海外配信などを活用しての発信力の強化、映像作品のオンライン管理システムを活用しての教育パッケージへの展開、各地域での上映イベント等での上映、など、様々な広がりが期待できます。



データベース・連携

収集された作品はEPAD作品データベースで検索可能となると共に、早稲田大学演劇博物館へも収蔵されます。

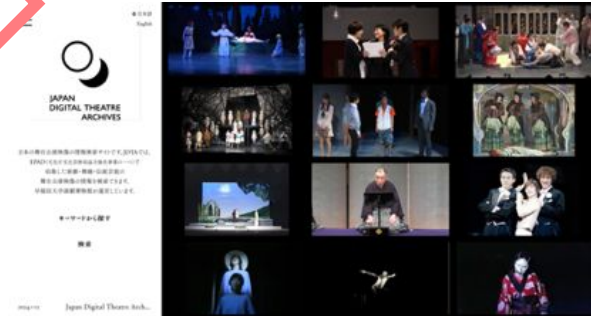
EPAD作品データベース

【連携】収集作品を収蔵
1094作品

「EPAD作品データベース」では、分野やステータス、上演年などから作品が検索できるとともに、キャストやスタッフ、ジャンルなどから周遊が可能です、さまざまな作品の情報を閲覧できます。

現在視聴可能な作品はその情報も集約されており、そのままワンクリックで外部の作品映像の視聴ページへアクセス可能です。

JDTA (Japan Digital Theatre Archives) 早稲田大学演劇博物館



早稲田大学演劇博物館が運営する舞台公演映像の情報検索サイトです。
演劇博物館が運営するAVブースにて舞台映像を視聴いただけます。

舞台芸術データベースの検索UX向上を目指し、AIを活用した、OCRや動画検索を共同開発

戯曲・舞台美術資料の収集

日本劇作家協会、日本舞台美術家協会と連携し、戯曲や舞台美術資料の収集を進め「戯曲デジタルアーカイブ」「舞台美術作品データベース」の拡充を図っています。

JATDT舞台美術作品データベース 日本舞台美術家協会

一般社団法人日本舞台美術家協会が企画・制作・運営する、現在最大規模の舞台美術作品のデータベースです。



「劇場空間の足跡」頁にて閉館する劇場をアーカイブ（俳優座劇場・椿組）する他、逝去した美術家のインタビューの掲載等「オーラルヒストリー」のページを改修・充実しました。

また、多数の美術・衣裳画等の資料を継続してデジタルアーカイブしています。



戯曲デジタルアーカイブ 日本劇作家協会

一般社団法人日本劇作家協会が企画・制作・運営する、戯曲のデータベースです。多数の戯曲を無料で閲覧することができます。



新規に107作品が12月15日に公開されました。
(累計1,100作品以上)

「劇作家名」「作品名」のほか、「上演時間」「上演人数」など、さまざまな角度から戯曲を探すことができ、さらには「上演の申請」まで行うことができます。高校演劇部などで積極的に活用されています。

収録サポート

8K+マルチ録音等 収録作品へのサポート 45作品

100年後の未来に質の高い舞台公演映像を残すために、8Kでの映像収録とマルチ録音の支援、収録技術の知見の共有を行なっています。

特に8Kによる高度な撮影技術等はR6年度までに培った収録会社各社との連携を活かし、低価格化に挑みつつ、これまでの収録実績がない上演団体へ技術提供をしながら知見を共有することで業界全体へ還元を目指しています。

8K映像は従来の画質と比較してはるかに高画質な映像であり、より人間が目で見ているものに近い画質を再現可能です。

収録された映像は、上演状況をより忠実に再現できる高画質な定点映像であるメリットを活かし、まるで舞台上に俳優が存在しているような等身大上映の可能性を上映事業等を通して検証しています。

また、後進の育成に活用することを目指し、舞台芸術の創造や鑑賞の助けとなる映像として、ドキュメンタリー映像の制作も支援しています。

アストロデザイン 小声 ビスケ FlatBox NHKテクノロジーズ
NHKグローバルメディアサービス など

収録協力団体のもと、収録を実施



全国巡回上映 舞台映像上映 Reライブシアター

全国公立文化施設協会の協力のもと、各館と共催にて全国10劇場にて一般公開の上映会を実施しました。お住まいの近くで観られることの喜びや、劇場で観る迫力・臨場感を楽しんでいただいた様子、実際の舞台を観たくなったというお声などをいただき、舞台芸術鑑賞への機会拡張の手応えが得られました。



文化と共に生きる社会の構築を目指し、R8年度はさらに実施館の拡大を予定。上映の標準化・低コスト化を検証・実践、公立文化施設の主催事業として上映会を実施するスキームの確立に向かいます。

舞台芸術作品を「観に行く」から「やってくる」へ。

舞台芸術をもっと手軽に、もっと身近に楽しんでもいただくために、賛助協力で提供された舞台公演映像を、劇場空間で上映する「Reライブシアター」を2025年度、「舞台映像上映 Reライブシアター」が11館実施される。全国10館の劇場にて、時短した舞台公演との新たな出会いが生まれます。

【香川県】	【徳島県】	【高知県】	【宮崎県】	【高知県】	【三重県】
レクザムホール(香川県民ホール) 小ホール 8月21日(土)	徳島県立二十一世紀館 イベントホール 9月14日(日)	サンクス後援 イベントホール 9月11日(日)	香川県立総合文化ホール 大ホール 10月25日(土)	高知県立県民文化ホール 大ホール 11月1日(日)	三重県文化会館 ホール第一 11月1日(土)
10:30 14:00 この世は 偉大なる 0202 ver.3 そして愛の心... 全席自由 1,000円(税込)	11:00 14:45 東京芸術劇場 舞がいのルーシー 0202 全席自由 1,000円(税込)	10:30 14:30 東京芸術劇場 舞がいのルーシー 0202 全席自由 1,000円(税込)	19:00 19:30 PARCO PRODUCE JPN リア王 1,000円 (全席自由/税込)	19:30 19:00 PARCO PRODUCE JPN リア王 1,000円 (全席自由/税込)	13:00 17:00 PARCO PRODUCE JPN リア王 全席1,000円(全席自由/税込) チケット販売 8月30日(土)10:00
チケット販売 8月21日(土)10:00	チケット販売 9月9日(日)10:00	チケット販売 9月9日(日)10:00	チケット販売 8月16日(土)10:00	チケット販売 8月1日(日)10:00	

【兵庫県】	【千葉県】	【福岡県】
福岡県ニルダホール メインホール 11月16日(日)	戸文化ホール ホール 11月29日(土)	SAWARAFIA 福岡県立本多町文化センター 11月29日(土)
11:00 16:00 PARCO PRODUCE JPN リア王 1,000円(全席自由/税込) 追加1,000円(全席自由/税込)	14:00 18:00 福岡市立市民センター イキウイ 舞って 全席自由(全席自由)	17:30 東京芸術劇場 舞がいのルーシー 0202 全席自由 500円 (全席自由/税込)
チケット販売 8月2日(土)9:00	チケット販売 9月29日(日)10:00	チケット販売 9月26日(日)10:00

【鳥取県】
鳥取県市民交流センター みなの大ホール 市民ホール 12月20日(土)
14:00 イキウイ 舞って 全席自由 1,000円(全席自由/税込)
チケット販売 9月20日(土)9:00



＜全国8カ所での検証会の実施＞

これまでに上映会を実施したことがない劇場を対象に、劇場技術スタッフ・地域の舞台芸術関係者に上映技術の普及及び標準化のための検証会も全国8カ所でも実施、上映時の映像とバリアフリー等字幕の同期・活用方法も検証いたしました。

【実施地区】

三重/兵庫/香川/徳島/高知/鳥取/福岡/宮崎

舞台公演映像見本市

Performing Arts Base 2025 参加 | EPAD 舞台公演映像 見本市

これまで豊岡演劇祭(R4年度)、東京芸術祭(R5年度・6年度)、いしかわ芸術祭2024(R6年度)と継続して取り組んできた芸術フェスへの舞台映像の展開として、東京舞台芸術祭 2025期間中に開催する「Performing Arts Base 2025」にて「舞台公演映像 見本市」を実施しました。



- ◆高品質収録のための技術共有会
 - ◆「舞台映像上映 Reライブシアター」体験試写会
 - ◆舞台映像 アーカイブシアター
- を3日間にかけて開催。

舞台公演映像の「収録」「上映」「活用」をテーマに、多様な立場の人々とともに語り合い、知見を共有しました。

計25作品に多言語字幕を付与して配信

1) 国際交流基金「[STAGE BEYOND BORDERS](#)」にて、新たに10作品を配信しました。

【今年度 配信作品】

『cocoon(2022 ver)』マームとジプシー

『ヨブ呼んでるよ -Hey God, Job's calling you!-』鳥公園

『長い正月』20歳の国

『true/本当のこと』Kinsei R&D

『舞台「銀牙 -流れ星 銀-」～牙城決戦編～』ネルケプランニング

『高丘親王航海記』ITOプロジェクト

『ストリーム』振子びじん

『殺意(ストリップショウ)』ルサンチカ

『友達じゃない【Bチーム】』いいへんじ

『ザ・キャラクタースティックス／シンダー・オブ・プロメテウス』お布団

言語: 英語、繁体字、簡体字、フランス語、スペイン語、タイ語、韓国語、ヒンディー語 インドネシア語

STAGE BEYOND BORDERS Selection of Japanese Performances

「STAGE BEYOND BORDERS」との協働は2021年から始まり、139ヶ国・地域にて、2025年3月末時点で累計の視聴回数が3,500万回以上となっています。

2) AIを活用した字幕作成の低コスト化の検証

国際発信に意欲のある作品15作品について字幕を作成、AIを活用して低コストに翻訳字幕を作成する試みを実施しています。

ユニバーサル事業

5作品に情報保障を付して配信

「[THEATRE for ALL](#)」(株式会社precogが企画制作を手掛けるアクセシビリティに特化した舞台芸術のオンラインサイト)と協働し、2.5次元ミュージカル作品などの人気作から演劇賞受賞作まで幅広く、字幕や音声ガイド、手話などの情報保障をつけて舞台作品映像を配信しています。

継続して作品が増えるにつれ、「字幕付きなどでどんどん配信して欲しい」という声も届くようになりました。

THEATRE for ALL x EAD 2025

「こまつ座」
『紙屋町さくらホテル』

ヨーロッパ企画
『切り裂かないけど攫いはするジャック』

『切り裂かないけど攫いはするジャック』

ストミック
『何時までも果てしなく続く冒険』

MANKAI STAGE『A3!』
~Four Seasons LIVE 2020~

舞台
『チ。—地球の運動について—』

目指すのは、だれしにも、芸術鑑賞の選択肢がある世界

【今年度 配信作品】

『何時までも果てしなく続く冒険』ストミック

『紙屋町さくらホテル』こまつ座

『切り裂かないけど攫いはするジャック』ヨーロッパ企画

MANKAI STAGE『A3!』~Four Seasons LIVE 2020~ MANKAI STAGE『A3!』製作委員会

舞台『チ。—地球の運動について—』ホリプロ

◆バリアフリー制作協力団体

舞台ナビLAMP 合同会社nubo 株式会社音声ガイド
NPOメディア・アクセス・サポートセンター

Palabra株式会社 聴力障害者情報文化センター
株式会社エンタメロード

教育利活用プロジェクト

教育利活用プロジェクトでは、教育現場で舞台芸術と出会う機会を広げるとともに、鑑賞における時間的制約や地域による機会格差を少なくすることを目指し、その実現に資するコンテンツや仕組みづくりに取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、主に大学・高校を対象とした教育機関向け舞台芸術映像配信サービス「みるステ」の開発・普及を行い、全国31校の大学・高校で導入されました。また、「みるステ」では、舞台芸術映像の配信に加え、解説書「COMPASS」、[アーティストインタビュー](#)、導入動画「[演劇を浴びるとき](#)」などの補助教材も整備しました。

さらに、小・中学生向けの取り組みとして、「オリジナルミュージカル教育パッケージ」の開発を進め、より幅広い世代が舞台芸術に親しめる学習機会の創出に取り組んでいます。

約270作品を配信



みるステ

補助教材

授業設計をサポートする解説書

COMPASS (コンパス)



作者の思考に出会う映像教材

アーティストインタビュー



興味を引き出す導入動画

演劇を浴びるとき



使用例

図書館での鑑賞



授業・ゼミでの視聴
作品研究



令和7年度視聴トライアル導入校

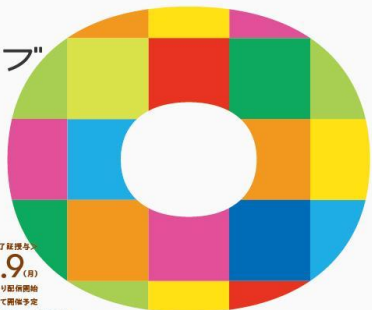
授業、ゼミ、図書館等で活用可能な舞台芸術映像のオンライン視聴トライアルを実施し、31校の導入につなげた。



舞台芸術アーカイブ講座2025

個人から組織まで幅広く多様な舞台芸術アーカイブが充実することを目指し、舞台芸術アーカイブの担い手を育成する講座を開催いたしました。実践的な講座内容と、リアルタイム講座とオンデマンド講座の両立で持続可能性が高い設計となっています。

舞台芸術
アーカイブ
講座
2025



現場で
すぐ役立つ、
記録保存の
スキル

リアルタイム講座(全7回・オンライン)終了後、
12.15(月)→12.9(月)
オンデマンド講座 2026年1月23日(金)より配信開始
対面ワークショップ 2026年2月2日(土)を計画中



アーカイブの視点と言葉を知る 1.基礎			現場で役立つ記録のスキル 2.実践I		未来に役立つ活用のスキル 3.実践II	
2025.12.15(月)	2025.12.19(金)	2025.12.22(月)	2026.1.19(月)	2026.1.26(月)	2026.2.2(月)	2026.2.9(月)
19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30
1-1 舞台芸術 アーカイブのいま	1-2 権利処理入門	1-3 おさえておきたい 基礎知識	2-1 公演記録のノウハウ ～制作編～	2-2 プロセスの記録	3-1 公演記録のノウハウ ～記録映像編～	3-2 レッツ資料整理!
舞台芸術の特性から記録保存の観し、アーカイブの多様性、公共性、そして芸術への貢献までも公共的な観点から幅広く学ぶ機会。	著作権、著作権譲渡、再録権といった舞台芸術のアーカイブにおける権利処理の基礎知識を学ぶ機会。	どんなアーカイブを作るのか、記録を残しアーカイブを構築する方法や環境を定めるための基礎知識を学ぶ機会。	公開を含頭に書いた公演映像を扱うために、現場ではどのような準備ややり取りが行われているか、制作者と撮影者の立場から対話形式で取り下げる。	制作中に様々なジャンルで生まれる記録物、それらどのようにに制作にかざり記録されているか、制作者と撮影者の立場から対話形式で取り下げる。	収録された映像はいかに整理されるか、公演映像が新たに制作する仕事についてクリエイターと撮影者の立場から対話形式で取り下げる。	公開メタデータのためのフォーマットを提供しながら、公演記録の保存・管理の仕方までデジタルとアナログの両方から紹介する。
志村麗子 ライオン大学客員研究員	福井健策 弁護士・ニュー・エコーの森田士・弁護士及び法律事務所代表、一般社団法人EPAD代表理事、日本舞台芸術家ネットワーク代表理事	本間友 原簿録音ミュージシャン・コンピュテ音楽家	坂本もも 映画記録プロジェクト・プロダクション 須藤崇規 映像ディレクター	河井翔 演出家 本間友 原簿録音ミュージシャン・コンピュテ音楽家	山本卓卓 作家・演出家・俳優、原簿録音代表 須藤崇規 映像ディレクター	石本華江 原簿録音大学アートセンター・ソング・ダンス・アート・ライブ 三坂直美 EPAD事務局/Booster 辻村優子 俳優

◀対面ワークショップ開催 『アーキビスト・イン・マイマインド』

講座などで紹介した体系化された知識を活用しながら、アーカイブの意味と方法を考え、自分らしいアーカイブの構築を試みる実践的なワークショップを開催しました。

★公開中★

舞台芸術アーカイブ講座

イントロダクション (EPAD Youtube)

豪華ゲストが<舞台芸術アーカイブ>を様々な角度から語る!

一般社団法人EPAD 舞台芸術アーカイブ講座

舞台芸術アーカイブ講座 対面ワークショップ

アーキビスト・イン・マイ・マインド

体系化された方法を活用しながら、自分らしいアーカイブの構築を試みる実践的なワークショップ!

日時: 2026年2月23日(月・祝) 13時~17時 場所: 新宿芸術花伝舎A1
定員: 30名(先着順)

舞台映像の現在地点—EPADシンポジウム2025—

2026年1月に「舞台映像の現在地点」と題したシンポジウムを開催（オンライン配信・現地観覧あり）。森下 亮さん(クロムモリブデン)による人気企画「君の知らない名作僕が教えるから 僕の知らない名作君が教えて」との特別WEB番組や、今年度の事業成果報告を行うほか、動き出した全国での上映事業について振り返り、今後の展望について議論しました。



EPAD ×「君の知らない名作僕が教えるから 僕の知らない名作君が教えて」

<MC>

森下 亮(クロムモリブデン)

<ゲスト>

那須佐代子(シアター風姿花伝支配人)

笠木 泉(スヌーヌー)

尾崎優人(優しい劇団 主宰)

<実況>

小林義典(クロムモリブデン)

事業報告

<登壇>

福井健策(骨董通り法律事務所代表、EPAD代表理事)

坂田厚子(EPAD事務局長)

シンポジウム「動き出した全国バーチャル舞台上映構想」

<登壇>

小野賢志(文化庁参事官)

佐々木 敦(批評家)

岡室美奈子(早稲田大学教授、EPAD理事)

松浦茂之(三重県文化会館副館長、EPAD理事)

<司会>

伊藤達哉(ゴーチ・ブラザーズ代表、EPAD理事)



アーカイブを通して描く未来——EPADの取り組みについて

point 1 記録をたどる

EPAD作品データベース 4,400件以上
資料が検索可能。写真も

データベースに掲載
EPADに舞台公演映像をアーカイブすること、EPADの作品データベースへ掲載され、作品情報の検索が可能になります。

point 2 何度も使おう

劇場等で生の舞台を観る機会への
補填しになることを願っています！

配信・上映会での活用
舞台公演映像は、アーカイブするだけでなく、権利処理を行うことで劇場や上映への活用が可能になります。EPADでは、これまで多数の作品の権利処理をサポートすると共に、全国各地での上映会実施の促進など、舞台芸術と観客が出会う機会を豊富に提供してきました。

これまでの公開サポート
作品数は **800** 作品以上

自分たちの活動の記録を「のこして」つなげる

自分たちの活動の記録を「のこして」つなげる。それは、日本の舞台芸術の「地図」を、未来に向かって描き出す、新たな旅のはじまりです。

point 3 誰もがたのしめる

映像は後から、多言語字幕や情報保護を付して、広げていくことが可能です。

EPAD×THEATRE for ALL
株式会社procyoが運営するアクセシビリティに特化したオンライン劇場、EPAD×THEATRE for ALLと称し、バリアフリー字幕や音声ガイド、手話などの情報保護の制作をサポートし、配信される作品を増やしてきました。

point 4 次世代へつたえ

国際交流基金
「STAGE BEYOND BORDERS」
国際交流基金とは、日本の優れた舞台公演を海外向けにオンライン配信するプロジェクト。舞台公演映像に多言語字幕を付し、YouTubeに情報公開を行っています。EPADは一部作品について翻訳、配信される作品を増やしてきました。

point 5 EPADあつまる

ポータルサイト
舞台公演映像の活用事例やアーカイブの取組を案内している人々の声など、実態に役立つ、舞台芸術アーカイブにあつまる様々な情報が集まっています。

自分たちの活動の記録を「のこして」つなげる

それは、未来の舞台芸術をより豊かにしていく活動であり、さらに、近い将来の自身の活動をステップアップさせていく取り組みにもなります。しかし、この「アーカイブ」の作業は人手やコストの負担が大きく、当事者の引退によって貴重な資料が散逸されてしまうことも少なくありません。

EPADは、日本のかけがえのない舞台芸術を、次世代へ受け継ぎ、世界へ届ける。その営みを、ともに支え、育てていけるしくみを、舞台芸術に集う皆さまとともに築いていきたいと考えています。それは、日本の舞台芸術の「地図」を、未来に向かって描き出す、新たな旅のはじまりです。

2025年度はアーカイブ事業を紹介するリーフレットを作成しました。本リーフレットでは、舞台芸術に携わる方々に向けて、EPADがサポートできる仕組みを紹介しています。

▼EPADアーカイブ事業紹介リーフレット

http://epad.jp/wp-content/uploads/2026/04/EPAD_archive_leaflet.pdf



EPADの活動にご理解とご協力を賜り 心より御礼申し上げます
次代へバトンをつなぐアーカイブを通じて 舞台芸術を未来と世界へつないでいけるよう
今後もEPADは 各活動に励んでまいります